オートテスト

試験設定が保存されたセットリファレンスと一致している状況でAUTOTESTボタンを押すと、 試験が開始されます。リファレンスの設定がない場合、セットリファレンスを実行するように促し ます。

eXportソフトウェアの使用

1. eXportソフトウェアを起動させます。

2. ファイル → 新しいプロジェクトを選択してプロジェクトを作成します。

| 💥 Р | 💥 Psiber Data eXport | | | | | |
|-----|---------------------------|---------------|--|--|--|--|
| 77 | イル インボート エクスボート | 設定 ツール ヘルプ 言語 | | | | |
| | 新しいプロジェクト プロジェクトを閉く | | | | | |
| B | ブロジェクトの保存 ブロジェクトを閉じます。 | | | | | |
| | 最近使用したプロジェクト・ | | | | | |
| ø | 閉じる | j | | | | |

3. セーブされた結果をeXportにインポートします。

| ・WX4500本体:インポート → デバイスを選択して結果をインポートします。 |
|---|
| ・USB: インポート → USBドライブを選択して結果をインポートします。 |
| ・PC : インポート → PCからを選択して結果をインポートします。 |

| 2 Psibe | r Dat | a export | | |
|---------|-------|-----------------|------------|--|
| ファイル | イン | ボート エクスポート | ツール ヘルプ 言語 | |
| | 0 | デバイス USBドライブ | ケーブル・ラベル | |
| | - | PCtNS | | |
| | 8 | OTDR | | |

4. 結果リストをダブルクリックすると結果の詳細が別画面で表示されます。



リスト ベイスド試験

階層形式ラベルリストの作成

ラベルリスト生成は、ケーブル認証を行う前にカスタマイズ可能な階層形式(ビル名→フロアー →テレコムルーム→ラック→パネル→ポート)のラベルを作成します。それにより、試験後のラベ ル作成操作を減らすことが可能です。連続していない試験のとき、本体にインポートされた定 義前のラベルは二重のテストを防止します。

ラベルリストの作成

- 1. eXportを起動させ、ツール → ラベルリスト作成をクリックします。
- 2. それぞれのフィールドに開始No.と終了No.を入力します。
- 3. 階層を使用しない場合は、チェックを外します。
- 4. 保存ボタンをクリックしてラベルを保存します。
- 5. PCにUSBメモリをセットして、USBへ出力をクリックします。



ラベルリストのロード

1. ワイヤーエキスパートのローカルユニットにUSBメモリを接続します。

2. ラベルリストを選択します。

3. ロードするラベルを選択して、ラベルファイルをコピーを選択します。自動的にロードされます。





5. インポートするLBTファイルを選択します。自動的にインポートされます。



6. リストからラベルを選択してAUTOTESTを実行します。試験終了後、PASS(緑)は 合格を表し、FAIL(赤)は不合格を表します。







エンサークルドフラックス マルチモード 光LCセット アダプタセット マルチモードファイバの認証試験は、測定過程の固有の不確実性のための議論に問題視さ れてきました。ISO/IECとTIAは、マルチモード用のテスト装置で使用される光源の発光条 件を標準化するエンサークルドフラックス(EF)を採用しました。

す。

MMEFアダプタ セット (WX_AD_EF_MM2)

構成品

- FC-SCトランスペアレント リファレンスコード × 2本
- SC-SCトランスペアレント コード × 2本

構成品

- FC-LCトランスペアレント リファレンスコード × 2本
- LC-LCトランスペアレント コード × 2本
- LCアダプタ × 2個

新しいMMEFアダプタは、これらの新しく厳しい基準に適用できるように設計されています。全 てのMMEFテストセットには、トンランスペアレントコードが含まれています。そのため高価なラン チコードが必要ありません。アダプタのVFLは、ファイバの故障個所を直接の目視を可能にしま

■ MMEFテストアダプタ(波長850/1300nm LD光源) × 1セット

光LCセット (WX_AD_LC_EF_MM_CORDKIT)

はじめに



3

| | 17 | 1. | | | | | |
|--------|---|--|------------------------|----------------------------------|--------------|--------|--------|
| | -<- | | | | | | |
| 測ゴはエゴれ | 定する ネクタと 除いて キスパ・ ネクタ数 たロス(| ファイ 接ださ くださ ートは 接 し | バはいい。ネジャン | ある 数に TIA クタ 数に ま | 接基 / 19 損関 り | 続いる夫系ま | 点て現は公。 |
| | 11-09-2015 TIA-568 示はリンタにあ の接続は名。 動的に大を 2 ジャンパー 3 ジャンパー |). 3 つる接続数で みません。 含みます。1 0 | ₹表示し ソファレンス ジャンハ | ます。鉄橋 助扱設は - 2 | | | |
| | 接続点の数 | | | 0 | | | |

0.75

0.3

3.5 dB/Km

1.5 dB/Km

 \checkmark

80%

>

100

TIA-568.3 >

2000)

011

1.493

Generic I

11-09-2015

テスト規格

標準の規格

ネットワーク規格

最大長(■)

7-7 1

-7"1:

モーダル帯域幅

ታスト

27*ライスの教 27*5/2毎の02(dB)

コネクタ毎の02 (dB

ケーフ**゚ル・**ロス (850nm)

ケーフ*6・ロス (1300nm)

<

距離制限

11-09-2015

Single Direction One Jumper Dual Ended

テスト条件の設定

規格: ISO 14763-3

OM1

压折率 1.493 モッジレージ 500MH7*K

Sample うい。 「上名の候補: (LBT)Test

プロジェクト設定

システムの設定内容

設定

双方向試験の場合、各ファイバの損失はローカルからリモートユニットの双方向で測定されます。

この試験では、オートテストの途中でファイバの接続を交換して頂く必要があります。

※ リファレンス設定中にケーブル接続の交換はしないでください。

2

4

| | 11-09-2015 | - 🔁 🖸 |
|-------------|--|----------------------------------|
| 標準の規格 | TIA-568. 3 | |
| GB 50312 | デストリングにある接続数をま の接続は含みません。リフ 動的に次を含みます。1 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>> | と示します。終め リルンスの接続は自 ジャンパー 2 |
| ISO 11801 | 2 9'477 - 1 3 9*477 - 0 | |
| ISO 14763-3 | | |
| TIA-568.3 | | |
| | 接続点の数 | 0 |
| | コネクタ毎の03 (dB) | 0.75 |
| | | 0.75 |
| | スフ*ライスの数 | 0 |
| | スブライスの数 スブライス毎のロス(dB) | 0.3 |
| | スブライスの数 スブライス毎のロス(dB) ラ〜プレーロス(850nm) | 0.73 0.3 3.5 dB/Km |

き続点とコネクタの数を設定してください。TIA/ISOを選択した場合、 づいて、測定範囲は計算されます。セットリファレンスで行ったコネクタ ISO規格では、コネクタの最大許容損失は0.75dBですが、ワイヤー 失をより厳しい条件で設定することができます。

|係なくリンクロスを設定することができます。試験結果はカスタマイズさ

| 11-09-2015 🔁 🚺 | | | 100 | | |
|----------------|---|---|-------|--|--|
| 接続点の数 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| (|) | v | | | |
| 7 | 8 | 9 | 6 | | |
| 4 | 5 | 6 | | | |
| 1 | 2 | 3 | Enter | | |
| 0 · | | | | | |

TIA942-A等、ほとんどの規格では光ファイバリンク上の最大長について規定しておりません。 ワイヤーエキスパートはオートテストの合否基準値を決めるべく、長さ範囲の設定が可能です。 距離制限を設ける必要がない場合を設定しておいてください。

| 11-09-2015 | 5 (87%) | | |
|------------------|-----------------------------------|--|--|
| テスト規格 | | | |
| 標準の規格 | ISO 14763-3 > | | |
| ネットワーク規格 | > | | |
| 最大長 (∎) | 2000 > | | |
| ケーフ・ル | | | |
| カーフット: | 011 > | | |
| *-*- | Generic WWF | | |
| 臣折率 | 1.493 | | |
| モーダント学校幅 | > | | |
| ت ۲۶۲ | 7 [°] 09 [°] x9 | | |
| < [- | | | |

